

令和 7 年 9 月定例月議会

令和 7 年 9 月 1 9 日

健康福祉常任委員会

資 料

関連議案	案件名	所管課	ページ
議案第 9 2 号	損害賠償の額を定めることについて	市立長浜病院 医療安全管理室	2
議案第 7 8 号	令和 6 年度長浜市病院事業会計資本剰 余金の処分及び決算の認定について	市立長浜病院事務局 経営企画課	3

長浜市病院事業

所管委員会	健康福祉常任委員会
関係案件	議案第92号
所管局・課	市立長浜病院医療安全管理室

損害賠償の額を定めることについて

2024（令和6）年6月に当院で心臓手術を受け、その後、死亡に至った患者の遺族に対して、合意した和解契約の条項にもとづく解決金を支払うもの。

1. 患者

- 60代、女性、市内在住

2. 遺族へ支払う解決金の額

- 5,000万円 ※医療費と相殺する前の解決金の額：50,444,127円（損害賠償の額）

3. 症例のあらまし（2弁置換術後死亡に至った症例）

- 当該患者については日常生活におおむね支障はなかったが、心臓弁膜症と診断されていて、心不全の進行を遅らせ、突然死を防ぐことを目的として当院で心臓手術を受けることとなった。
- 術前の心臓カテーテル検査（2024年1月）では、当該患者の右冠動脈について通常と異なる高位分枝を示唆していたが、執刀医にはその認識がなかった。
- 2024年6月10日、心臓弁膜症（大動脈弁閉鎖不全症・僧帽弁狭窄症）に対して2弁置換術を実施した。その術中に大動脈を切開した際、高位分枝の右冠動脈については、さらに大動脈の壁内を走行しているというまれな先天的な形態であり、大動脈切開線がかかってしまったことで、右冠動脈虚血（血流不足の状態）となった。そこで、右冠動脈にバイパス手術を施して血流を回復させた。術後、ICUにて治療を継続したが、左心房内に血栓が生じて循環不全が進行し、術後24日目の7月4日に死亡確認となった。

4. 対応経過

- 当該患者の死亡後、同月中に医療事故調査委員会（日本心臓血管外科学会推薦の医師3人と滋賀県医師会推薦の弁護士1人の外部委員を含む）を設置し、調査に着手した。
- 調査結果については、2024年12月に医療事故調査報告書として取りまとめ、2025年1月に遺族への報告書の交付と説明を行い、4月には国の機関へ提出した。
- 以降、和解に向けた遺族との話し合いを重ね、8月14日に和解契約の合意に至った。

5. 医療事故調査の結果と和解契約の合意に対する当院の見解

- 医療事故調査の結果をふまえ、当院としては、事後的に検証すると改善の余地があると考え、また、死亡という結果になったことを重く受け止めている。
- 遺族の気持ちに寄り添って対応する中で、顧問弁護士とも十分に相談して早期解決を図るべきとの結論に至り、和解契約に合意することとした。

所管委員会	健康福祉常任委員会
関係案件	議案第 7 8 号
所管課	市立長浜病院事務局経営企画課

令和 6 年度長浜市病院事業会計決算書

令和 6 年度長浜市病院事業会計資本剰余金の処分について

市立長浜病院において、昭和 4 8 年に長浜市から医師住宅用地として譲り受けた土地を売却したことによる会計処理を行うため、地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 3 2 条第 3 項の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

【会計処理】

- 当該土地にかかる資本剰余金の全額（5,212,368 円）を未処理欠損金（いわゆる累積赤字）に充当する。 ⇒資本剰余金、未処理欠損金とも同額を減額

※令和 7 年度決算書に反映

本決算書 P 9 「(4) 令和 6 年度 長浜市病院事業会計欠損金処理計算書（案）」より抜粋

（市立長浜病院）

（単位：円）

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	12,126,558,390	70,018,152	△ 7,529,512,858
議会の議決による処分数	0	△ 5,212,368	5,212,368
処分後残高	12,126,558,390	64,805,784	(繰越欠損金) △ 7,524,300,490

【貸借対照表】

- 長浜市から譲り受けた土地の登録状況（処分前）

- ・固定資産—土地 5,212,368 円（簿価）
- ・剰余金—資本剰余金（受贈財産評価額） 5,212,368 円（簿価と同額）

※資本剰余金とは

営業活動によって生じる損益取引とは別に、資本取引によって企業内に留保されるものをいい、主に非償却資産（土地など）の取得に充てるための補助金、寄附金等の金銭又は受贈物件（物件にあつては、その適正な見積価格）で構成する。土地の受贈があつた場合は、当該土地の簿価を「固定資産—土地」と併せて「資本剰余金—受贈財産評価額」にも計上する。

【売却した土地について】

●処分目的

老朽化が激しく、かつ将来的に利用する見込みがない医師官舎2棟（建物付き土地）について民間による利活用を図るもの（一般競争入札による売却）

●売却財産の概要、売却金額及び売却益について

（1）長浜市平方町字京戸町 1072-12 売却価格 8,150,000 円 … A

土地 公簿面積 161.50 m² （簿価 2,325,600 円 …①）

建物 居宅（木造・瓦葺・2階建） 延床面積 86.67 m²

車庫（軽量鉄骨造・銅板葺・平屋建） 延床面積 14.58 m²

令和7年3月10日に売買完了

（2）長浜市平方町字京戸町 1072-20 売却価格 10,080,000 円 … B

土地 公簿面積 200.47 m² （簿価 2,886,768 円 …②）

建物 居宅（木造・瓦葺・2階建） 延床面積 96.39 m²

令和7年3月31日に売買完了

（3）売却益

ア 売却金額（A+B）18,230,000 円

イ 帳簿価格（①+②） 5,212,368 円

ア－イ＝13,017,632 円 →損益計算書に特別利益（固定資産売却益）として計上